

公衆衛生学			単位数	履修方法	配当学年
			4単位	R	2年以上
科目コード	DF3110	担当教員	柏木 誠(上)／澤田 悦子(下)		



■科目の内容

公衆衛生学は健康の問題を疫学的に把握することにより、病気の予防や健康を維持しようとする学問であり、社会医学の分野に属しています。また、衛生学は社会的環境要因と健康との関わりを分析することによって病気の予防と健康維持を探索する学問です。

本科目は公衆衛生学と衛生学とを合わせた衛生公衆衛生学と呼ばれる領域を担当するものであり、予防医学と健康の維持についての科学と技術を学びます。わが国の公衆衛生の現状と衛生行政についても習得します。

身近な学問です。自分の生活と関連付けて考えてください。

■到達目標

- 1) 公衆衛生の概要について簡潔にまとめることができる。
- 2) 生活習慣病とその予防について説明できる。
- 3) 感染症と予防（免疫を含む）について説明できる。
- 4) 生活習慣病、主な生活習慣病、生活習慣との関連について説明できる。メタボリック症候群と関連させて説明できる。
- 5) 新聞やテレビなどのニュースに関心を持ち、公衆衛生に関する情報を得ることができる。

■教科書

鈴木庄亮・久道茂編『シンプル衛生公衆衛生学2015』南江堂、2015年（2015年度版でなくても可）
（最近の教科書変更時期） 2015年4月

■在宅学習15のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	衛生学・公衆衛生学序論 (第1章)	衛生学・公衆衛生学、健康をめぐる、生活と健康、健康問題の変遷・公衆衛生と医療の歴史、公衆衛生活動生命倫理、保健医療福祉の倫理 キーワード：公衆衛生、健康	公衆衛生学、公衆衛生活動を理解する。生命倫理について考える。
2	保健統計 (第2章)	健康の測定と健康指標、人口統計 キーワード：平均寿命、人口静態・動態統計、老年人口割合（高齢化率）	健康の指標について学び、平均寿命と死因について考える。統計調査の方法を学ぶ。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
3	疫学 (第3章)	疫学とは、疫学調査の手順と留意事項、疫病の分類、疾病量の把握、疫学の方法 キーワード：疫病	疫学と統計調査について学ぶ。
4	疾病予防と健康管理 (第4章)	疾病リスクと予防医学、健康管理、健康増進 キーワード：一次予防、二次予防、三次予防、健康日本21（第2次）、QOL	予防医学、健康増進について学び、自らの生活習慣を見つめなおす。
5	主な疾病の予防① (第5章)	感染症、循環器系の疾患の予防 キーワード：感染症の成立、新興感染症、再興感染症、予防接種、脳血管疾患（脳卒中）	感染症成立の条件について学び、予防対策について考える。脳血管疾患のリスクと予防を考える。
6	主な疾病の予防② (第5章)	生活習慣病、アレルギー疾患の予防、不慮の事故と自殺の防止 キーワード：生活習慣病、脳卒中、糖尿病、メタボリックシンドローム、がん、アレルギー疾患	生活習慣病のリスク（特に喫煙・飲酒）と予防を考える。
7	環境保健 (第6章)	生活環境の汚染問題、公害問題、環境のあり方について学ぶ キーワード：生態系、環境汚染、ADL	人間の環境が健康に及ぼす影響について学び、新たな問題に対しては、自ら考える姿勢を育てる。
8	地域保健と保健行政 (第7章)	個人と地域の関係と、一人ひとりが健康になるための地域のあり方について キーワード：地域保健活動、保健所	地域保健活動と、保健所や市町村保健センターの役割について学ぶ。
9	母子保健 (第8章)	母子保健対策、母子保健の現状と課題について キーワード：出生率、合計特殊出生率、少子化	日本の乳児死亡、妊産婦死亡、合計特殊出生率の年次推移について学び、少子化の原因と母子保健対策を考える。
10	学校保健 (第9章)	学校保健とは何か キーワード：学校保健、健康教育、保健指導	学校保健について学び、子供の現状の理解を深める。
11	産業保健 (第10章)	よりよい職業生活を送るには、法制度について キーワード：労働基準法、労働安全衛生法、職業病	勤労者保健について学び、労働災害や職業病などの健康障害に対する対策を考える。
12	老人保健・福祉 (第11章)	老化とは、各種制度の目的、実際の動向と今後の課題 キーワード：老化、健康寿命、健康日本21（第2次）、高齢者医療制度、特定健診、介護保険	老化や加齢に伴う健康障害、高齢者医療制度や介護保険、介護予防について学ぶ。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
13	精神保健 (第12章)	精神保健と心の働きの理解、精神の健康とは キーワード：精神保健、うつ病、統合失調症、PTSD	脳と心の働き、精神の健康について学び、精神保健、メンタルヘルスケアについて考える。
14	国際保健医療 (第13章)	国際保健について、国際交流 キーワード：WHO、ユニセフ	国際的な健康課題に対処する方法を学ぶ。
15	保健医療福祉の制度と法規 (第14章)	保健医療行政、保険制度、医療制度、医療保険の仕組み、障害者福祉の仕組みについて キーワード：厚生労働省、保健所、医療保険、年金	保健医療福祉の概要を学ぶ。制度や法規を理解する。

■レポート課題（すべて【説明型レポート】）

※ p.108～109記載の注意(1)～(3)をよく読んでください。

1 単位め	① 公衆衛生活動と保健所の役割について簡単に説明せよ。 ② 日本の少子化の原因と、少子化によって生じる問題点について考えを述べよ。 ③ 平均寿命と健康寿命の差に及ぼす要因について考察せよ。 ④ 最近の日本における死因について考察せよ。ただし、2011年より、死因の第3位は肺炎になっている。
2 単位め	① 感染症および感染症の成立条件について説明せよ。 ② 疾病の一次予防と二次予防と三次予防について、簡単に説明せよ。 ③ 予防接種の意義と問題点について考えよ。 ④ 院内感染や高齢者施設内感染の問題点について考えよ。
3 単位め	① メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）について説明せよ。 ② 介護予防について述べよ。 ③ 飲酒が人体に与える影響について述べよ。 ④ 喫煙が人体に与える影響について述べよ。
4 単位め	① 「健康日本21」の第1次計画の成果と、第2次計画の目標について述べよ。 ② 最近の新聞ニュースなどで話題になった、公衆衛生学に関連する記事の要点をまとめよ。事例はいくつでも良いが、ニュース源（新聞名、テレビ番組名など）と、年月日を記載すること。自分の考えを加えればなお良い。

※注意 (1) 年度により問題が異なり、また、問題文も長いので、レポート用紙の「課題」欄には、「2015年の問題に解答する」のように、課題の年度のみを記入してください。「解答欄」には、問題の番号のみを記入し、問題文は記入しないでください。

(2) 1～3単位めは各問に対して、300字以上をめやすく、単位毎に、1,600字以上2,000字以内になるように、簡潔明瞭にまとめてください。4単位めは、①のみで400字以上をめやすく、①と②で合計1,500字以上2,000字程度でまとめてください。

(3) 教科書や文献をそのまま写すのではなく、自分自身の文章でまとめなおしてください。

■アドバイス

病気の予防と健康維持のために、教科書などの文献から知識を得て活用することが大切ですが、昨年はデング熱やエボラ出血熱の脅威に対し、自ら新情報を得て対処する必要性を痛感した年でした。今後、強毒性鳥インフルエンザウイルスが人に感染能力を獲得したり、強毒性のサルモネラ菌や赤痢菌がNDM1遺伝子を獲得したりする可能性も危惧されています。そのような緊急を要する場合に、的確な行動がとれるよう、準備する機会にしてください。

1 単位め アドバイス

公衆衛生行政の中心課題は、国民の健康に関するものですが、生活環境とも密接な関連を持っています。ここでは、まず教科書を最後まで読んで、概略をとらえてください。

日本における人口構成の特徴（2013・2012年版教科書 p.24、2009年版教科書 p.25、2006年版教科書 p.267の表を参照）を考慮した上で、少子化問題について考察してください。

2 単位め アドバイス

感染症対策は、公衆衛生上きわめて重要です。予防には、感染経路などの特徴を知ることが重要です。先天性風疹症候群と予防接種の関連、子宮頸がんワクチンの副作用などについても考えておいてください。

予防接種は、個人の感染症罹患や重症化を防ぐとともに、集団の罹患をも防止するものです。現在日本で使用されているワクチンの種類や、免疫についても理解しておいてください。免疫については、参考図書の『医学一般』『人体の構造と機能及び疾病』を参照してください。

病院内や高齢者施設内には、免疫力や体力の低下した人が集まっています。そのような特殊性や、日和見感染症、多剤耐性菌と関連させて考えてください。

3 単位め アドバイス

日本人の死因は、生活習慣病と密接にかかわっています。死亡リスクが高くなるメタボリックシンドロームについて考え、私たちの生活習慣を見つめ直すことが大切です。この機会に、飲酒や喫煙が人体に及ぼす影響も考えてください。たとえば、酒（アルコール、エタノール）には、麻酔作用があります。イッキ飲みで命をおとすこともあります。医学的に考

えてください。受動喫煙で肺がんやCOPDを発症することについても考えておいてください。

4 単位め アドバイス

① 2000年度からスタートした「健康日本21」は、2013年度から「健康日本21（第2次）」に改正されました。基本的方向及び主な目標について理解しておいてください。

② 公衆衛生学は、私たちの身近な学問です。普段から、新聞やテレビのニュースに関心を持っていることが大切です。新型インフルエンザ、風疹、ノロウイルスなど、気づいたニュースについて、簡単にまとめてください。新しい情報を自分でまとめることが重要です。総説や解説文はニュース源ではありません。

先天性風疹症候群やトキソプラズマ症など、指示を待つのではなく、いち早く情報を得て、自ら対処することで、胎児への感染を予防することも可能です。

■レポート評価の基準

- ① 問われていることを理解し、求められていることに応えている。即ち、レポートを読んで、逆に課題がわかるレポートになっている。
- ② 教科書などの丸写しではなく、自分の言葉でまとめている。自分で考えることが重要なので、考える姿勢を評価する。
- ③ 要点を、簡潔に、読み手にもわかるようにまとめている。
- ④ ニュースなど、情報を得て要約できる。

■科目修了試験 評価基準

- ① レポートをまとめる中で学んだ知識の要点が、身についている。
ただし、年代や細かい数字などを暗記する必要はない。
- ② レポートをまとめる中で学んだ知識が感じられる答案であること。一般常識や、仕事上で得た知識だけでは不十分なので注意する。
- ③ 過食、運動不足、喫煙、飲酒などの生活習慣を、生活習慣病予防の観点でとらえることができる。

■参考図書

教科書の各章ごとの参考文献を参考にしてください。

社会福祉士養成講座編集委員会編『医学一般』中央法規出版、2007年

福祉臨床シリーズ編集委員会編『人体の構造と機能及び疾病』中央法規出版、2009年～2015年

別冊 NHK 今日健康シリーズ（『メタボリックシンドローム』など）

岡部信彦・多屋馨子編集指導『予防接種に関する Q&A 集（2014年版）』（社団）日本ワクチン産業協会、2014年 <http://www.wakutin.or.jp/medical/index.html> より閲覧・購入可能

健康日本21（第2次）についての厚生労働省の情報

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kenkounippon21.html